

3月号

情報ニュース

社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会
石川県聴覚障害者センター fax076-261-3021

ひとり一人のろう者の生活と権利を守る「若」

令和6年度 派遣説明会・現任研修のお知らせ

盲ろう者向け通訳・介助員

期日：4月6日(土) 会場：石川県女性センター 2階 大会議室

13:30～ 派遣説明会
①新規登録者の紹介 ②派遣説明

15:00～16:00 現任研修会
講演：テーマ「共に生きる社会を目指して～視覚障害者の支援を考える～」
講師：米島芳文氏（社会福祉法人石川県視覚障害者協会理事長）

手話通訳・要約筆記

期日：4月20日(土) 会場：石川県社会福祉会館 4階 大ホール

12:30～13:30 派遣説明会
①新規登録者の紹介 ②派遣説明

14:00～16:00 合同現任研修会
講演：テーマ「手話通訳者・要約筆記者ができる支援
～聴覚障害者向けのメンタルヘルスケア～」
講師：森 せい子氏（東京手話通訳等派遣センター長）

※社会福祉会館は駐車できません。公共交通機関や有料駐車場を利用してご来館ください。

みんなの美術館 みんなと美術館 ワークショップ

戯曲を書いてみよう

講師：ピンク地底人3号（劇作家・演出家）

劇作家で演出家のピンク地底人3号さんを招き、戯曲づくりに挑戦します。演劇経験は不問です。戯曲を通してコミュニケーションについて考えてみませんか？



2024.3.17 [日] 13:00-16:30 (開場12:45) 参加無料

会場：金沢21世紀美術館 会議室1 定員：16名(中学生以上対象/事前予約優先)

※手話通訳あり、受付は筆談対応

主催：金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団] 協力：社会福祉法人石川県聴覚障害者協会 後援：北國新聞社



お申込はこちら





第 34 回手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験) 合格者誕生!



今年度の手話通訳士試験合否結果が先日発表されました。試験は 2023 年 7 月 23 日 (学科)、10 月 1 日 (実技) に実施され、全国で 1,041 名が受験し、そのうち 127 名が合格しました (合格率 12.2%)。この難関試験に県内で活動されている 3 名が合格しました。今後、手話通訳士としてさらに広い分野での活躍を期待します!

合格された方

上野 千恵さん (金沢市) 原 仁美さん (能美市)
大前 明日香さん (川北町)

次回案内

第 35 回手話通訳技能認定試験

たくさんの方の挑戦を
期待しています★★

問い合わせ先：社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター
〒153-0053 東京都目黒区五本木 1-8-3

<http://www.jyoubun-center.or.jp/>



◆石川県障害保健福祉課からのお知らせ◆



第 24 回石川県障害者スポーツ大会



令和 6 年度第 24 回石川県障害者スポーツ大会は、現在 開催に向けて調整中です。「とき」「場所」などは石川県障害者スポーツ大会実行委員会事務局または石川県障害者スポーツ協会のホームページにてお知らせいたします。参加予定の選手の皆さんは、ホームページをチェックしてください。

◎とき・種目・場所◎ 現在 調整中です!!

《各ホームページ》

石川県障害者スポーツ大会実行委員会事務局：

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sports/fukushi/supotutop.html>

石川県障害者スポーツ協会：

<http://i-sho-spo.sakura.ne.jp>

お問い合わせ 石川県障害者スポーツ大会実行委員会事務局

(石川県健康福祉部障害保健福祉課内)

TEL：076(225)1426 FAX：076(225)1429



電話リレーサービス 登録説明会

日時：3月10日(日) 10時~12時
場所：かほく市宇ノ気生涯学習センター

持ち物

身体障害者手帳
スマートフォン
スマホ等のパスワード

当日参加OK
参加費無料

やなぎだハウスの現況について

今回の震災において、やなぎだハウスに対するご心配、ご支援をいただき誠にありがとうございます。やなぎだハウスの現在の状況についてお伝えいたします。



【やなぎだハウスの修繕について】

2月7日（水）に、やなぎだハウスに建築士が来所され、修繕に関する協議をおこないました。その結果、修繕箇所が数多くありました。雪の心配がなくなるタイミングでの工事作業開始が望ましく、修繕作業は3月中旬から4月下旬となる予定です。修繕が完了した場合、5月ごろから安心してこれまで通りの運営が再開できる見込みです。それにより、3月中旬から修繕作業を開始する方向で検討中です。

【やなぎだハウスの運営再開について】

現時点で、やなぎだハウスの利用者のうち、8名が白山市の避難所で生活をされています。避難せずにそのまま奥能登で生活をされている方もいます。奥能登2市2町の福祉事業所のなかでは、やなぎだハウスだけが、まだ運営を再開できていない状況です。そのため、奥能登に残っている利用者に対して、週に1日だけでもやなぎだハウスに通ってもらえるなどの支援をしていくことを検討しています。これまでと同じようにやなぎだハウスの運営ができるよう職員一同、頑張っていきたいです。

金沢大学

手話講座 閉講

手話奉仕員養成講座 入門編
手話コミュニケーション講座
手話通訳講座

厚生労働省・手話研修センター委託事業として4月に開講した「手話コミュニケーション講座」「手話通訳講座」、10月開講のセンター自主事業「手話奉仕員養成講座入門編」の3つの講座が無事閉講いたしました。入門編の最終日には、きこえない人との交流が行われ、講座で学んだ事を活かして「明日の予定は?」「行ってみたい場所は?」など交流を楽しみました。



↓模擬講座の様子【手話通訳講座】



←交流の様子【入門編】



地域活動支援センターあさがおハウス

あさがおハウスだより

令和5年9月から6年2月の活動の様子です。

10月15日(日) 白山市福祉健康まつりで利用者が製作した手作り品を販売しました。今回はより良い販売方法を話し合ってから受付を行いました。また、今年も松任高校のボランティア部員が来てくれました。



10月27日(金) 白山市の特産品の料理体験メニューから五平餅作りを選びました。割ったクルミと味噌を混ぜ合わせ、つぶしたご飯につけて炭火でこんがりと焼きました。香ばしくて、思わずにっこり大満足！



12月4日(月) 新任の白山市国際交流員ニコル・ナビティー氏による講演会がありました。特に出身のアイオワ州の食文化に関する質問が多数ありました。最後にアメリカ手話の動画を見ながら表現もしました。



12月15日(金) 能美ふるさとミュージアムと北國新聞社白山印刷センターを見学してきました。昼食は美川町ふぐぬか漬店「あら与」でランチをいただきました。



能登半島地震によるきこえない・きこえにくい被災者9名が白山市の避難所から、あさがおハウスに通所しています。節分行事でのゲームやポッチャ教室での様子です。あさがおの利用者の応援を受け奮闘しました。



— その他の行事 —

- 9月 19日(火) 香林寺・ろうあハウス見学
- 10月 5日(木) 羽咋市志賀町生活教室来所・交流
- 10月13日(金) 松任高校生JRC部とのポッチャ交流
- 10月17日(火) 金沢市生活教室とのグラウンドゴルフ交流
- 10月23日(月) 手話やまびこ来所・交流
- 10月28日(土) 白山市ふれあいスポーツ大会(ポッチャ)
- 11月 6日(月) やなぎだハウス見学
- 11月13日(月) 講演会「認知症との向き合い方」
- 12月21日(木) ミニ門松作り
- 12月25日(月) 忘年会&クリスマス会